
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第26号（通巻第93号）

2003年12月26日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
[URL: http://www.cer.yamanashi.ac.jp/](http://www.cer.yamanashi.ac.jp/)

■ 山梨大学教育人間科学部主催 第10回教育フォーラムのご報告

山梨大学教育人間科学部では昨年度から後期の教育フォーラムを「21世紀の新しい教育を求めて」と題し、新しい時代に対応する教育について論究、討論しております。第10回は「地域が変わる」をテーマに、変化する地域社会と学校、家庭との関わりについて、宮島雅展甲府市長や山田一功山梨県PTA協議会会長らをパネリストにお迎えし、様々な角度から議論しました。当日は一般市民、教員、大学生など約50名の方々の参加があり、熱心に意見交換が行なわれました。



(第10回 教育フォーラムのプログラム)

テーマ 「21世紀の新しい教育を求めて - 地域が変わる - 」

日時 平成15年12月20日(土) 14:00~16:30

会場 山梨大学工学部 T1-4教室

パネリスト

甲府市長	宮島 雅展氏
山梨県PTA協議会会長	山田 一功氏
本学部附属教育実践総合センター客員教授	五味 武彦氏
本学教育学研究科大学院生	河西美由紀氏
司会 山梨大学副学長(教学担当)	黒澤 幸昭氏

* 教育フォーラムは翌日の山梨日日新聞にて下記のように紹介されました。

「・・・(中略)・・・子どもたちの学習意欲の低下などをめぐっては「物があふれる中、工夫することを忘れてしまい、向上心も低下した」との声や「これからの時代はあえて、子どもたちに不足や我慢の場を与えることも大切」との指摘もあった。メール社会を危惧する声や、ジャーナリズムの在り方についても意見が出た。このほか、親も含めた「心の孤独化^{注)}」への対策は、自治会や婦人会、子どもクラブなど地域が果たす役割も重要、との声もあった。」

注) 価値観の異なることに伴う孤独感(この注は原文にはありません。)(平成

15年12月21日山梨日日新聞より抜粋)

■ 山梨県教科「情報」担当教員研修のご案内

教科「情報」担当教員を対象に実践事例や評価の方法、この教科で活用できるシステムの紹介、教材、教育方法等に関する研修を実施いたします。

日 時：平成16年1月22日(木) 14:30~17:00

会 場：山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター
多目的教室(J号館514教室)

内 容：14:30 開講式

14:40 教科「情報」の学習コンテンツとその利用について

成田 雅博氏(本学部附属教育実践総合センター助教授)

15:00 教科「情報」で活用できるシステム(音声・音楽加工・編集ソフト)

吉原 太郎氏(昭和音楽大学非常勤講師)

15:40 教科「情報」の教材・実践事例

依田 源氏(山梨県立甲府第一高等学校教諭)

16:10 教科「情報」の実践と評価

江守 恒明氏(富山県立大門高等学校教諭)

16:50 閉講式

■ 「教師のための教育相談」案内パンフレット

パンフレットを県内の学校(各2部)、教育機関、また今教育フォーラムの参加者等約1200部配布いたしました。まだ、残部に余裕がありますので、必要な場合には、附属教育実践総合センター事務室(055-220-8325)までご連絡ください。なお、パンフレットに関しましてお気づきの点等忌憚のないご意見をお寄せください。

* これまでのセンターだよりの一部は <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/pub/nl/> で見るができます。